



「あだち放課後子ども教室」は区内の小学校内で、地域の方(スタッフ)の見守りのもと子どもたちが遊びや読書など自主的に活動する場です。

今月のテーマ

子どもたちの
体験活動を応援



あだち放課後子ども教室で実施している体験プログラム「こどもゆめ広場」では、「NPO 法人足立区地域で子どもを育てる会(以下「あちこち会」)のみなさんが、工作を教えにきてくれます。今回は皿沼小学校での様子をご紹介します。

● 紙コップで作る「光の万華鏡」

「紙コップはありますか?」「ありまーす!!」いよいよ「こどもゆめ広場」のスタートです。「あちこち会」のみなさんが、光の万華鏡の作り方を丁寧に教えてくれます。説明を聞く子どもたちの目は真剣そのもので、教わりながら一生懸命に作っています。

完成した万華鏡をのぞくと、「わー、きれい!」と驚きの声があがりました。



紙コップを使って作ります



万華鏡ってきれいだね!

● 作って遊ぼう! 「ブーメラン」

次は、子どもたちに人気のブーメラン作り。紙のブーメランに絵をかくたり、好きな色を塗ったりして、素敵な作品が完成です。子どもたちは自慢のブーメランを手に、心おどらせながら体育館に向かいます。

投げたら手元に戻ってくるブーメランに子どもたちは大はしゃぎ。「子どもたちが手軽に作れて遊べるように心掛けています」と、「あちこち会」事務局長の伊藤さんは話します。



かわいいブーメランできたよ!



ブーメランを手にポーズ!

● 体験活動の機会をもっと増やしたい!

スタッフリーダーの新井さんは「あちこち会のみなさんが親身に教えてくださるので、子どもたちが集中して取り組んでいました」と、話していました。スタッフのみなさんからは、「このような体験の機会を増やしてほしい」といった声も聞かれました。

あだち放課後子ども教室では、ボランティアの方やグループを募集しています。子どもたちの体験活動をサポートしてみませんか?